



CAT EYE ASTRALE 8

サイクロコンピュータ
CC-CD200N

J: 取扱説明書

ASTRALE 8

U.S. Pat. Nos. 4633216/4642606/5226340/5236759 Pat. and Design Pat. Pending
Copyright © 2002/2003 CAT EYE Co. Ltd.

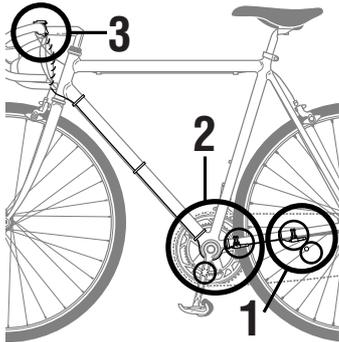


お使いの前にこの説明書を最後までよくお読みください。
この製品の機能をよく理解された上でご愛用ください。この説明書はお読みになった後も捨てずに、いつでも見られる状態で保管願います。

自転車への取付け

コンピュータ以外に次の部品が付属しています。全て揃っているか取付け前にご確認ください。

- 1 ブラケット
- 2 コード
- 3 速度センサー (長いコード)
- 4 ケイデンスセンサー (短いコード)
- 5 センサーゴム座
- 6 ホイールマグネット
- 7 ケイデンスマグネット
- 8 ゴムパッド
- 9 ナイロンタイ (10本)



1 ホイールマグネット/速度センサーを取付けます

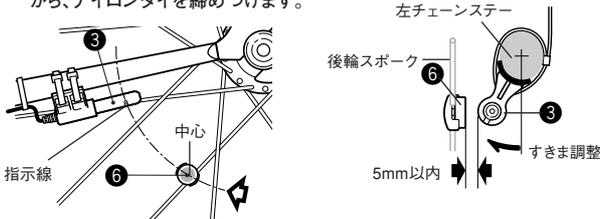
・後輪のスポークにホイールマグネット⑥をマグネット面がセンサーに対面するように取付けます。

・左チェーンステーに速度センサー③(長いコード)をナイロンタイ⑨で固定します。

注意 ナイロンタイは一旦差込むと抜くことができません。



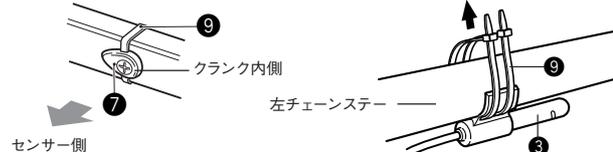
重要 後輪が回転したときマグネット⑥の中心がセンサー③の指示線を通過するように位置を調整し、マグネット⑥とのすきまが5mm以内になるように調整してから、ナイロンタイを締めつけます。



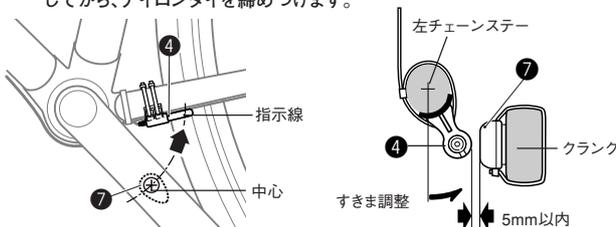
2 ケイデンスマグネット/ケイデンスセンサーを取付けます

・左クランクにケイデンスマグネット⑦をセンサーに対面するように取付けます。

・左チェーンステーにケイデンスセンサー④(短いコード)をナイロンタイ⑨で固定します。



重要 クランクが回転したときマグネット⑦の中心がセンサー④の指示線を通過するように位置を調整し、マグネット⑦とのすきまが5mm以内になるように調整してから、ナイロンタイを締めつけます。



警告

- ・走行中はコンピュータに気を取られないで、安全走行を心掛けてください。
- ・マグネット・センサー・ブラケットはしっかりと自転車に取付け、定期的にガタやネジの緩みがないか点検してください。
- ・使用済みの電池は誤って飲み込まないように管理し、定められた方法で処理してください。

注意

- ・炎天下の放置は避けてください。またコンピュータは分解しないでください。
- ・コンピュータや付属品を拭くときにシンナー、ベンジン、アルコール等は表面を傷めますので使わないでください。

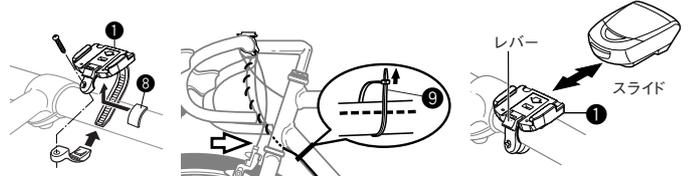
3 ブラケットを取付けます

コードはナイロンタイ⑨で要所をフレームに固定し、ブレーキケーブルに巻き付けてハンドルまで配線します。

ブラケット①にゴムパッド⑧をはめ、ハンドルにネジでしっかりと固定します。

コンピュータを「カチッ」と音がするまで差込むと、接点が接続されます。外す時はレバーを押しながら前方へスライドします。

注意 ← 部分はハンドルを回したときにコードが引っぱられないように長さを調整します。



4 速度センサーとケイデンスセンサーの動作テストをします

速度は後輪を浮かせてタイヤを回し、スピードが表示されることを確認してください。

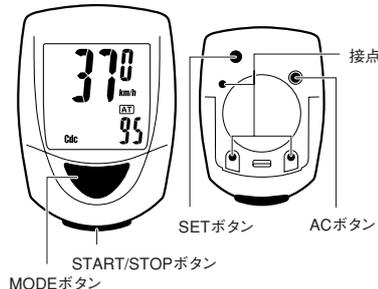
ケイデンスはコンピュータのMODEボタンを数回押して下段にケイデンス(Cdc)を表示させます。クランクを逆回転させて数字が表示されることを確認してください。

OKの場合はナイロンタイをきつく締め、センサーが動かないように固定します。

注意 計測しないときは、マグネットとセンサーの位置関係を再度確認してください。



コンピュータの準備 (初めて使うとき・電池交換した後)



簡易的には
タイヤ周長ガイド
を活用してください。

タイヤサイズ	(Lmm)
12 x 1.75	935
14 x 1.50	1020
14 x 1.75	1055
16 x 1.50	1185
16 x 1.75	1195
18 x 1.50	1340
20 x 1-3/8	1615
22 x 1-3/8	1770
22 x 1-1/2	1785
24 x 1	1753
24 x 3/4 Tubular	1785
24 x 1-1/8	1795
24 x 1-1/4	1905
24 x 1.75	1890
24 x 2.00	1925
24 x 2.125	1965
26 x 7/8	1920
26 x 1(59)	1913
26 x 1(65)	1952
26 x 1.25	1953
26 x 1-1/8	1970
26 x 1-3/8	2068
26 x 1-1/2	2100
26 x 1.40	2005
26 x 1.50	2010
26 x 1.75	2023
26 x 1.95	2050
26 x 2.00	2055
26 x 2.10	2068
26 x 2.125	2070
26 x 2.35	2083
26 x 3.00	2170
27 x 1	2155
27 x 1-1/8	2161
27 x 1-1/4	2161
27 x 1-3/8	2169
650 x 35A	2090
650 x 38A	2125
650 x 38B	2105
700 x 18C	2070
700 x 19C	2080
700 x 20C	2086
700 x 23C	2096
700 x 25C	2105
700 x 28C	2136
700 x 30C	2170
700 x 32C	2155
700C Tubular	2130
700 x 35C	2168
700 x 38C	2180
700 x 40C	2200

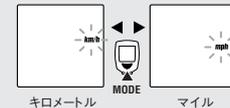
1 オールクリアをします

裏面のACボタンを押します。
※安定した計測を行うため、初めて使うときや電池交換の後に必ず押します。



2 計測単位を選択します

MODEボタンでキロメートルかマイルか、計測する単位を選択します。SETボタンで確定されます。

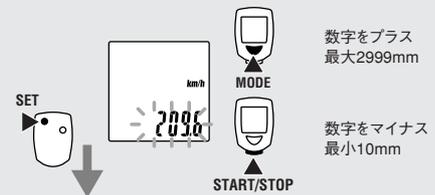


3 タイヤ周長をセット

自転車のタイヤ外周の長さをミリ単位でセットします。

参考 右のタイヤ周長ガイドを活用すると便利です。

SETボタンで確定され設定が完了します。



数字をプラス
最大2999mm

数字をマイナス
最小10mm

準備完了(計測画面・走行時間へ)

※オートモードはオンの状態でセットされます

タイヤサイズは通常タイヤの側面に記載されています。

コンピュータの操作

選択(下段)データの切替え

MODEボタンを押すと選択データは右図(計測画面)の順に切替ります。どの計測画面からでもMODEボタンを2秒間押し続けると時刻に変わります。

計測のスタート/ストップ

計測中は計測単位アイコン(Km/hまたはmph)が点滅します。積算距離・最高速度は計測の開始・停止にかかわらず更新されます。

●オートモード(自動計測)

画面に^{AT}アイコンが点灯しているときは計測を自動で行います。これをオートモードと呼び車輪の動きを検知して自動的に計測のスタートとストップを行います。^{AT}が点灯している時はSTART/STOPボタンで計測をスタート・ストップできません

●手動計測

画面の^{AT}アイコンが消灯している時はSTART/STOPボタンを使って計測のスタートとストップをします。ボタンを押すと走行時間・平均速度・走行距離の計測を開始し、もう一度押すと停止します。

●オートモードをオンまたはオフするには

走行時間(Tm)・走行距離(Dst)・平均速度(Av)を表示させSETボタンを押します。^{AT}アイコンが点灯(オン)または消灯(オフ)に切替ります。

走行時間、走行距離、平均速度、最高速度のリセット

積算距離(Odo)以外の表示で、START/STOPとMODEボタンを同時に押すと、走行時間・最高速度・平均速度・走行距離のデータをゼロに戻します。積算距離はリセットされません。

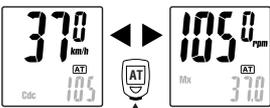
コンピュータの機能

●節電機能

約1時間無信号状態が続くと時刻だけの節電画面になります。ボタンを押すか、走り出すと計測画面に戻ります。

●上段表示の入替え

常時表示する上段のデータは走行速度かケイデンスかを選択できます。始めは走行速度が選択されています。上段をケイデンスに替えた場合、下段にはケイデンスの代わりに走行速度が表示されます。オートモードがオンの状態でSTART/STOPボタンを押すと入替ります。



走行速度 START/STOP ケイデンス

トラブルと処理

全く表示がない。

電池が消耗していませんか?

新しい電池と交換し、オールクリアをしてください。

異常な表示がでる。

オールクリアをしてください。注:積算距離(オドメーター)も消えてしまいます。

START/STOPボタンを押しても計測を開始しない。

画面に^{AT}アイコンが点灯していませんか?

ボタン操作で計測をスタート・ストップするにはオートモードをオフにしてください。

走行速度(ケイデンス)が計測できない

(走行速度(ケイデンス)が計測できないとき接点を金属片で数回ショートさせます。このテストで計測できるとコンピュータは正常で、ブラケット/センサー側の問題と考えられます。)

センサーとマグネットの距離が離れすぎていませんか?(間隔5mm以内)

センサーの指示線とマグネットの中心がずれていませんか?

マグネット・センサーの位置を調整し直してください。

本体あるいはブラケットの接点に何か付いていませんか?

接点を拭いてください。

コードが断線していませんか? 外観上異常がなくても断線している場合も考えられます。

ブラケットセンサーセットを新しいものと交換してください。

メンテナンス

・コンピュータや付属品が汚れたら、薄い中性洗剤で濡らせた柔らかい布で拭いた後、から拭きしてください。

電池の交換

表示が薄くなってきたら電池の交換時期です。

・リチウム電池CR2032は十側が見えるように入れます。

・交換後は「コンピュータの準備」の手順に従い、各設定を行ってください。

計測単位アイコン



計測画面



節電画面

(約1時間無信号が入らないと節電画面になります)



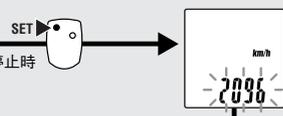
MODEボタンとSTART/STOPボタンのどちらかを押すか、走り出すと計測画面に戻ります

選択(下段)データの切替え



タイヤ周長を入力するには

セット範囲: 10~2999 mm



計測停止時

MODE 数値をプラス

MODE 数値をマイナス

START/STOP

製品仕様

使用電池/電池寿命 ----- リチウム電池 (CR2032)×1個、約3年(1日に約1時間使用の場合)

制御方式 ----- 4-bit 1-chip マイクロコンピュータ(水晶発振器)

表示方式 ----- 液晶表示

検知方式 ----- 無接触磁気センサー

タイヤ周長セット範囲 ----- 10 mm ~ 2999 mm (初期値:2096 mm)

使用温度範囲 ----- 0°C~40°C (32°F~104°F)

寸法・重量(コンピュータ) -- 38 x 54 x 17.5 mm [1-1/2 x 2-1/8 x 11/16"] / 28 g [1.0 oz]

*あらかじめ装着されている電池はモニター用ですので電池寿命は短くなります。

*仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

製品保証について

2年保証:コンピュータのみ(付属品及び電池の消耗は除く)

正常な使用状態で万一故障した場合は無料で修理・交換いたします。お客様のお名前・ご住所・ご購入日・故障状態をご記入の上、製品と共に当社宛て直接お送りください。お送りいただく際の送料はお客様にてご負担願います。修理完了後、当社より郵送にてお届けさせていただきます。

[宛先]

〒546-0041 大阪市東住吉区桑津2丁目8番25号

TEL: (06)6719-6863ダイヤルイン FAX: (06)6719-6033

ホームページ <http://www.cateye.co.jp>

e-mail support@cateye.co.jp

製品サービス課

*アクセサリパーツを別途販売していますのでご利用ください。

標準部品	#169-9400N ブラケットセンサーキット (リアホールセンサー)	#169-9757N アタッチメントキット	#169-9765 ケイデンスマグネット	#169-9691N ホイールマグネット
オプション部品	#169-9402N センターマウントブラケットキット (リアホールセンサー)	#169-9403N エアロバー用ブラケットセンサーキット (リアホールセンサー)	#166-5150 リチウム電池 (CR2032)	#169-9760 コンボジットホイール用 マグネット
	#169-9404N ステム用ブラケット センサーキット (リアホールセンサー)			